

## 事務事業評価表

○基礎情報

課名	社会教育課南湖公民館		作成責任者
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	生川 彰博

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
1人	1人	1人	8人	0人	5.38人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
6時間	0.5時間

### 1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の現状値	目標値(R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
社会教育事業・イベントの参加者数	48,282人	50,000人	49,636人	37,220人	306人
文化財の指定件数	43件	49件			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	家庭教育・幼児期の教育の支援
2	地域の教育力の向上
3	効果的な社会教育の推進
4	地域の学習拠点としての公民館の充実
5	文化財の保護・活用
6	0

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果があがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない  
実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

### 2 政策的事業の実績(令和2年度)

No.	事務事業(第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円)		R2予算(円)		何・誰に対して(対象)	どう働きかけた結果(手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	Check		Action	
					R元決算(円)	R2決算(円)	R元決算(円)	R2決算(円)							評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	公民館利用者活動支援事業(公民館)	4	1.81	一般	8,295,000	9,397,000	8,309,703	8,183,146	コロナ禍において、利用者の安全確保を優先すべく、利用制限等を定めたガイドラインを基に感染防止対策を講じて施設の運営を行うことができた。		利用件数(年間)	3,000件	1,081件	C	変動なし			
2	社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)	3	0.43	一般	110,000	36,000	62,300	20,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座を行い、地域課題解決に向けた学びの機会の提供に寄与した。		事業数	8事業	1事業(オンライン1事業 19人)	A	変動なし	●		
3	子ども事業(公民館)	2	0.62	一般	140,000	10,000	197,798	0	対面式による講座の代替として動画配信を実施し、楽しみながら学べる体験型学習の提供に寄与した。		事業数	7事業	3事業(動画2事業1,621回)(他1事業)	A	変動なし			
4	家庭教育支援関連事業(公民館)	1	0.51	一般	427,000	20,000	248,200	10,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、子育て中の保護者が保育をしながら気軽に参加し、安心して受講できる機会の提供に寄与した。		事業数	9事業	4事業(動画3事業1,461回)(オンライン1事業 19人)	A	変動なし			



3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

〈5公民館としての取り組みと成果〉

子育てに悩みを持つ母親が一人で悩まないように産後体操を通じて、子育て中の親の不安や閉塞感の解消に努め、同時に年齢の近い子どもを育てる仲間を持つことでの情報交換をしたり、悩みを分かち合うことで、「孤独な子育て」を回避することを目的とする「スマイリングままサロン」について、例年は、各公民館で開催していたが、コロナ禍の中、参加者が集まっての開催が困難なため、Zoomを使ったオンライン講座により5館協働により、3月に3回にわたり開催した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当面は地域住民の活動や公民館の事業に影響を及ぼすことが想定されるなかで、引き続き5館が連携を密に図り、工夫を凝らしながら社会教育の推進に努めていく。また、コロナ禍においても社会教育の灯を絶やさぬため、公民館5館のみならず、社会教育施設(図書館、体験学習センター、青少年会館を含め)の職員を対象に、Zoomを使ったオンライン講座を実施するための基礎知識、実際の操作を習得するための研修を実施しスキルアップを図るとともに、市民対象のオンライン講座を開催した。

〈南湖公民館の取り組みと成果〉

南湖公民館の第4次実施計画事業の事務事業数は、「災害応急対策活動」「庁内共通事務」を除き11事業あり、そのうち政策的事業は9事業である。新型コロナウイルス感染症対策の影響により、約3ヶ月間の臨時休館や開館後の利用制限による運営等によって、事業全体に大きな影響が及んだ。2の「社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)」では、オンラインによりヨガ教室を試みて、普段会場で行う臨場感さながらの雰囲気で行うことに成功し、1事業のカウントではありながら、2回の講義を行った。3の「子ども事業(公民館)」と4の「家庭教育支援関連事業(公民館)」3では動画配信により、地域課題解決に向けた学びの機会の提供と、4ではオンラインや動画により安心して受講できる機会の提供に寄与できたため、この2と3と4を「A」評価とし、1の「公民館利用者活動支援事業」は、コロナ禍の影響により目標値には達しなかったが、そんな中でも目標値の36.03%に達しており、事業の指標は達成できなかったが、成果があがったと判断し、「C」評価とした。5の「地域交流事業(公民館)」・6の「学習成果の還元事業(公民館)」・7の「公民館ふれあい事業(公民館)」においても目標値には達していないが、5では南湖の歴史を題材にして職員による漫画制作を行い、新しい形での社会教育の試みに挑んだ。6では公民館の講座で培ったスキルを受講者が展示して好評を得た。7では職員の手作りによる季節ごとの創作物を館内ロビー前や公民館入口のポスターケースに展示し、コロナ禍の利用者や地域の方の心を和ませ、併せてフェイスブックでも周知した。このように、事業の指標は達成できなかったが、成果があがったと判断し、「C」評価とした。また、8の「次世代育成ネットワーク事業」と9の「学習情報の提供」については新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施できなかった。今後は新たな取り組みとしてのオンライン講座や動画配信を、その効果測定も行いながら更に調査・研究を重ねて行き、同時に対面事業の実現についても新型コロナ感染症の情勢を見ながら実施していく予定である。

時間外勤務については、総時間数で6時間、一人当たりで月平均0.5時間となっており、前年度の総時間11時間一人当たり月平均0.92時間と比べ減となった。管理職以外に常勤職員が一人という公民館の特性から、主に庁内業務(文書事務や各種説明会などへの出席に係る部分等)に費やす割合が多いと感じられるところであるが、引き続き事務の効率化及び館内の協力体制により、時間外勤務を極力させないようにする。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は-)	事務改善の内容
2	社会的要請課題をテーマとした事業	令和3年度事業実施方針に基づき事業を展開していくうえで、より効率的な事業進捗を図ることが必要であると考え、社会的要請課題をテーマとした事業・地域交流事業・公民館ふれあい事業を地域課題解決等事業、学習成果の還元事業と学習情報の提供を学習成果活用・学習情報提供事業にそれぞれまとめる。
5	地域交流事業	
6	学習成果の還元事業	
7	公民館ふれあい事業	
9	学習情報の提供	

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は-)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
-	-	第4次実施計画作成の際、適切に事業の統合等を図っており、現時点において事業の休・廃止は困難であるが、引き続き効果的、効率的な事業運営に努める。